

オランウータン

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

森野

従業員A

従業員B

医者

隣の客数名

某旅館の一室。森野が泊まっている。

森野 ええ？ お湯出えへんやん…。ボロいホテルやなあ…。

森野、フロントに電話を掛ける。

森野 あー、すいませんあのー、風呂のお湯がね、温くならないんですよ。ちよっと来てもらえますか？ あれ？ もしもし？ はい。もしもし？ …え？ いやあの、聞こえてます、けど。もしもし？ …あれ？ こっちは聞こえてますよ？ …切れた。通じたのかな？

森野、内線電話を切る。

森野 まあ、ええわ。…あー、腰痛あ…。

森野、ゴロゴロする。

森野 一日歩いたもんな。足痛あ。早よ風呂入りたかったのに。…釘落ちてる…。何やこのホテル。

従業員A 失礼します。

森野 早。どうぞ。えらい早いな。

従業員A お布団敷きに来、うわ！

部屋に入った途端仰天する従業員A。

森野 え？ …あのう、風呂のお湯が全然温くならへんねやんか。

従業員A 嘘やん…。

森野 え？ いえあの今フロントに電話してんだけど聞いてないかな…。

部屋を見回す従業員A。

従業員A 何これ？

二人、ストップモーション。

声 (ピンポンパンポン) ただ今、従業員には目の前の男がオランウータンに見えております。

再び動き出す。

従業員A ちよっと、これ、ええええええ？
森野 ちよっと見てもらえるかな？

森野から一定の距離をとる従業員A。

従業員A (奥の部屋に聞こえるように) お布団敷きに来ましたー。

森野 …うん、わかっている。…ほんで何か、電話も調子悪いんやけど。相手の声は聞こえてるんやけどね。こっちの声が…。

従業員A 何でエ(おるの)？

森野 いやあの、最初から…。かけようと思ったら…。もう故障してて。

従業員A うわ、ありえへん。

森野 全然申し訳なさがないよね。いや実際おかしいねんて。

従業員A ホンマありえへんわ。

森野 掛けなあかんトコあるからさ…。

従業員A めっちゃシュール。

森野 聞いてって！

従業員A うわあ。ありえへん。

森野 何なん、ありえへんありえへんって。ありえへんの、君の態度やん。携帯電池切れで充電器も忘れてもうたから。電話使いたい

ねん。ちょっと見てくれる？

間。

従A …めっちゃ見てる。

森野 見てって。

従業員Aに近づこうとして、足と腰が痛くて限りなくオランウータンの歩き方に近くなってしまう森野。

従A うわあああ！

森野 …。

従A 怖わあ…。

森野 …？

従A 忘れ物？

森野 は？

従A んなわけではないよなあ。えー？ まあ大丈夫

森野 やからおるんやろなあ。自分、めっちゃ毛え

森野 抜けてるやん。

森野 ほっとしてくれ…。

従A あと掃除大変やろ。

森野 言い過ぎやろ。早よ電話せなあかんから。

従A うわ！ シッ！ シッ！

間。

森野 …何かおかしいね。俺が何かに見えてるんや。君、俺のことどう見えてんの？

従A こっちが警戒するからあかんのか。

森野 うん、まず人の話聞こ。な。

従業員A、手を差し出す。

従A あんま人見知りせえへんねんなあ。

森野 あの…。取りあえず、電話直してくれるかな？

従業員A、電話をかける。

従A あ、タダシです。

森野 え？ 使えんの？

従A 今601号室に来てるんですけど、ハッ！

森野が近づくどと咄嗟に身構える従業員A。

従A …誰かこっちによこしてくれませんか。…はい。ちよつと珍客が。

森野 珍客？

従A …取りあえず来て、見てもらったらわかるんで。…はい。

従業員A、電話を切る。

森野 ええ？ …電話使えるんや。ええ？ 何があかんかったんやろ？

電話の裏を覗き込んだりして調べる森野。

従A 電話に興味を持ちました。

森野 …。

森野、受話器を取る。

従A 取った。かしこつ。

森野 は？

従A それは、でん・わ。…でん・わ。

従A (幼児に言うように) 電話したいの？ 電話するの？ あそう。

森野 え？ 何なんこれ。君、ホンマに従業員？

従A 凄え齒茎。

間。

森野 …何かおかしいな。え？ 俺の言葉聞こえてる？

まじまじと森野の顔を見つめる従業員A。

森野 聞こえてへんわ。何これ？ 俺がおかしいん？ 俺のことどんな風に見えてんの？

従A めっちゃ愛嬌あるなあ。

森野 絶対何かちゃうもんに見えてるやろ。え？

従A 何？ 何か珍しい系やろ？

従A お座り！

森野 犬？

従A お座り！

森野 え？ 犬なん？

従A …あかんか。犬より賢いはずやのになあ。

森野 犬ちゃうんか。せやな。犬が電話取ったら、

かしこ、で済まんもんな。

従A 言い方が…。なあ、自分ちよっと座ってみー

へん？

森野 あの、聞こえへんと思うから言うけど、…

自分アホやろ。

従A へーくしょん！ 誰や、俺のことバカにし

てんの。…

森野 勘はええんや…。ああ、もうどないしたら

ええねん…。

森野、しゃがむ。従Aガッツポーズ。

森野 違ーう！

従A かしこつ。もしかして、俺の言うこと通じ

てんの？ 何が言いたいんや？ 言うて

み？

森野 俺のこと一体何に見えてんの？ 医者呼ん

で！

従A ハハ。キヤツキヤキヤツキヤ言うてるわ。

森野 おちよくってんのか？

従業員B登場。

従B 向こうも食事終わったから布団…。

Aと同じように森野を見て驚く。三人ストップモーシヨン。

声

(ピンポンパンポン) 従業員Bにも、目の前の男がオランウータンに見えています。ただし、従業員Bは男の言葉は普通に聞こえます。

動き出す。

従B うわ！ ええ？

従A タダヒコ、ええとこ来た。

従B 何で？

従A ありえへんやろ。ありえへんやろ。

森野 ありえへんのは君の言動やろ。

従B うわあ！

森野 は？

従B 喋った！ 今喋ったで！

森野 え？ わかるんか？ 俺の言葉わかるん

か？

従B え？ 俺の言葉わかるん？

森野 こっちが聞いているねん。

従B 何？ このオランウータン。

森野 オランウータンか。

従A 何で会話できるねん。

従B え？ 喋ってるやん。

従A もうええって。

従B ホンマやって。

従A ウホウホってしか言うてへんやん。

従B そうなん？ ええ？

従A 質問してみて。

従B 質問？

従A 何でもええから。

従B うん。何で人間の言葉がわかるようになったん？

森野 逆や。俺は人間や。もう少し接客の仕方があるでしょ。

従B え？

従A 何で？

従B 俺は人間や。もう少しで。

森野 違ーう！

従A 進化待ち？

森野 「で」って何よ「で」って！

従A 早く人間になりたいの？ 進化したいの？

あそっ。

森野 ちゃんと通訳して。普通の人間です。

従A 超えられへん壁もあるって教えた方が…。

従B 普通の人間やって。

従A ええ？ 失礼やけど、凄いオランウータン

に似てるだけか聞いてみて。

森野 ホンマ失礼やな。違ーうわ。

従A 聞いてみて。
従B 違うって言うてる。

森野 この部屋泊まってから急にこうなってる。
こっちの人には言葉も通じへんし。電話も
伝わらんし。何とかしてくれよ。あんたし
かおらんねん。お兄さんだけが頼りやねん。
何て？

従A いや…、ウホウホって。

従B 面倒臭がるなよ！ 聞こえてるんやろ。

森野 あかんわ。もうウホウホってしか聞こえへ
ん。

森野 嘘や！ 聞こえてたやろ！

従B あれー？ 嘘？ さっきまで聞こえてたの
にな。

森野 釘落ちてる。

従B え？

森野 聞こえてるやないか！ 面倒臭がらんと何
とかしてくれ。

従B いや、何とかって言われても、ただのバイ
トやのにそんな…。

従A また聞こえるようになったんか？ そうな
んか？

森野 そっちの彼にちよつと席外してくれって言
うてよ。

従A、バナナを見せる。

森野 って何で持ってんねん！

従A ここでバイトしたいって言うてるのか？

従B ちやうちやう。この部屋のお客さんみたい
や。理由はわからんけど、突然オランウー
タンになってんて。

森野 その財布の中に俺の免許証が入ってるわ。

財布から免許証を出す。

森野 そこに写ってるのがホンマの俺や。

従B …名前は？

森野 モリノヒトシ。

従B これ、名前のせいちゃいます？

森野 そんなことないやろ…。

従A …まあ、いろいろあるわな。

従B どうしよ。病院行きましようか。

森野 せやな。

従A 病院行くん？

従B うん。

従A ちよつと待ってて。

従B え？

従A すぐ戻って来るから。

従B おい。

従A、出て行く。

森野 あの、お風呂お湯でないんですけど。

従B ああ、はい。

近くの部屋の宿泊客が集まってきて、写メールを撮る
ために携帯を構えている。

客A もうちよつと近づいて。

客B こう？

森野 ちよつと、追い出してもらえます？

従B あの、すみません。こちらのお客様のご迷
惑になるんで、お部屋に戻ってもらえませ
んか。

客A 何やねん、オランウータンのくせに。

客B 行こ。

客、帰る。

森野 くせにつて…。

従A、戻って来る。

従A こっちです。隣の部屋お医者さん泊まって
てん。

医者、登場。

従B おお。

医者 あらら、ホンマやね。近づいても平気？

従B 多分。

医者 ちよっと診てみますね。お名前は？

森野の下瞼を引っ張ったりして、診察する医者。

従B モリノヒトシです。

医者 いや君やなくて。

従B いや、彼が森野さんです。

医者 あそつ。…森野さん？

森野 はい。

医者 何処か痛いところあるかな？

森野 腰が。

従B 腰が。

医者 成程。ああ、まあ一時的なものでしょう。

これくらいやったら、別に病院まで行かなくても、二、三日安静にしてたら元通り人間の姿に戻ると思っつか？

森野 え？

自分、客がオランウータンみたいになってるって言うてたけど、百パーオランウータンやん。

従A 全くその通りで。

でも言葉通じるし…。もしかしたら、映画の転校生みたいにぶつかって入れ替わったんかも。逆の、人の姿した方探したら…。君、診たるわ。ウチの部屋おいで。

従B …え？

従A タダヒコ、診てもらえ。

従B …診てもらえますか。

医者 その代わり宿泊料まけてや。

従B えー、まじっすかあ。

三人、出て行く。

森野 待てよ！ 病院！ お風呂！ 布団！

釘！

取り残される森野。終わり。